

名古屋市立吉根中学校
第2学年 学年通信
No.6 令和5年6月27日

きずな 絆

最高の仲間とは？

- ・つらいときに支え合える仲間
- ・喜びや感動を分かち合える仲間
- ・**安心して自分を表現できる仲間**

生徒の皆さんへ

明日から第2回テストが始まります。第2回テストは教科数が多いですが、準備は万全でしょうか。テストが終わった来週には、体育大会の選手決めがあります。運動が得意な人はさほど心配していませんが、運動が苦手な人にとって体育大会はきっと憂鬱なイベントでしょう。また、合唱コンクールも同様で、歌うことが苦手な人にとっては合唱コンクールの方が憂鬱なイベントに感じるでしょう。体育大会や合唱コンクールなどの行事は、それを苦手と感じている級友を批判したり、他人の失敗を責めたりしては、例え良い結果を得られたとしても成功とは言えません。行事に限ったことでもありませんが、得意な人も苦手な人もお互いを認め合いながら、自分ができることに対して全力で取り組むことが大切です。そして、学級の一人一人が**安心して自分を表現できる**雰囲気をつくるのが、クラスの絆を深めるために何よりも必要なことです。最高の仲間づくり、最高の学級づくりのために、体育大会の選手決めから良い雰囲気を進めることができるとよいですね。

保護者の皆様へ

学級担任ローテーションが始まり、一週間が経ちました。職員室内では、先生たちが生徒の様子や学級の様子を伝え合う時間が増えました。また、一部の生徒は、学級担任以外の先生に相談をし始めました。保護者の方とお話をした際には、「良い取り組みですね」とお褒めの言葉もいただきました。改善点もありますが、順調にスタートをしたように思います。保護者の皆様におかれましては、何かご心配なこと、ご不明なことがありましたら、ぜひご相談ください。よろしくお願いいたします。

【連絡】

- ① 7月10日（月）から14日（金）まで、個人懇談会があります。その期間は、生徒は昼食を食べずに下校をしますが、早い時間に懇談会がある場合は、学校で昼食を食べることも可能ですので、学級担任までご相談ください。また、その期間は、15時まで家庭学習で、部活動がある場合は、15時45分鍵渡しの再登校になります。控え室は2階の多目的室です。入校許可証とスリッパをご持参の上、ご来校ください。よろしくお願いいたします。
- ② 第2回テストのテスト週間から、昨年度にも実施をした寺子屋会という学習会を、希望する生徒を対象として、授業後に開催しました。夏休み中も、8月24日（木）の全校出校日の直前の、8月21日（月）から23日（水）に寺子屋会を開催する予定ですので、よろしくお願いいたします。

2年生 7月の行事予定

日	曜	チャイム	ランチ	行	事	A B	1	2	3	4	5	6
1	土											
2	日											
3	月	45	123	学年合唱指揮者オーディション15:15		A	道	月2	月3	月4	月5	月6
4	火	45	123	学年合唱伴奏者オーディション15:15		A	火1	火2	火3	火4	火5	総
5	水	45	456	生徒委員会15:15		A	水1	水2	水3	水4	水5	水6
6	木	45	456			A	木1	木2	木3	木4	学	一
7	金	45	○	生徒議会15:15		A	金1	金2	金3	金4	金5	総
8	土											
9	日											
10	月	45	×	個人懇談会(ランチなし)		B	道	月5	月6	金5	—	—
11	火	45	×			B	火1	火2	火3	火4	—	—
12	水	45	×			B	水1	水2	水3	水4	—	—
13	木	45	×		マーケット予約(9月)	B	木1	木2	木3	木4	—	—
14	金	45	×			B	金1	金2	金3	金4	—	—
15	土											
16	日			家庭の日								
17	月			海の日								
18	火	45	○			A	木1	木2	木3	木4	水5	—
19	水	45	○	クラス合唱伴奏者オーディション授業後		A	月6	水6	総	学	掃除	—
20	木	特	×	終業式(10:00終了)		—	式	学	—	—	—	—
21	金			夏季休業開始								
22	土											
23	日											
24	月											
25	火											
26	水											
27	木			寺子屋会	8月21日(月)~23日(水) 午前(時間は後日お知らせします)							
28	金			出校日	8月24日(木) 8:25~9:15							
29	土											
30	日											
31	月											



稲武野外学習活動 生徒の作文紹介

【1組】

- 私が稲武へ行って体験し、学んだことは、自然にはいいところも不便なところもあるということです。例えば、家ではTVやスマホが使える、分からないことでもすぐに調べられるけど、自然豊かなところだと家族と連絡が取れなかったり、迷子になったときにどこにいるかもわからず、行方不明になったりすることが起きてしまうと思ったからです。他にも、ご飯を作るときにまず火起こしやまき探しから始めるという大変さや、家では炊飯器が火の強さを調整するから毎回水の量を一定にすればご飯のやわらかさは変わらないのに、自分たちでやると焦げてしまったり固くなってしまったりすることがありました。あとは、まきで火の強さを調整するのも大変でした。けれど、みんなで協力して作ったのでおいしかったです。私が稲武野外学習で学んだことの一つ目は、仲間と協力するにはみんながやる気があって同じ熱量じゃないとうまくいかないということです。二つ目は仲間と協力すると楽しいし、一人でやるよりもおいしくなるということです。この野外学習は一生に一度なので、すごく大切に心の中にしまっておきたいと思いました。



- 僕は稲武で集団行動の大切さを学びました。みんなで集まるときに時間が遅れると、そのあとの予定に影響して、結局自分たちが損をすることがわかりました。朝の集いやご飯を食べるときに、時間通りに進むと誇らしい気持ちになりました。また、カレー作りでは一人一人が協力することでおいしいカレーができました。火を調節したり、野菜を切ったりすることは大変で、普段の生活ありがたいものなんだとわかりました。いつも料理を作ってくれる母に感謝しました。



【2組】

- 僕たちは中津川に行けていない。修学旅行には行ったが、友達とご飯を作ったりするキャンプにはあこがれがあった。1泊2日ではあったが、僕は中学2年生になった時から、ずっと稲武を楽しみにしていた。そして、稲武から帰るとき、まだいたいと思った。稲武を楽しめた証拠だ。今回の稲武は、小学校のころの修学旅行より、自分たちで考えなければいけないことが多くあった。先生が言っていた、自分たちでやると思い出に残るということを今回実際に体験できた。稲武は、何十年先でも思い出すことができる一生の思い出になった。

- 私は今回の稲武野外学習の活動を通して、とてもよかったなと思ったことが二つあります。一つ目は仲間と協力したり、絆を深めることができました。カレー作りの時に飯ごうチームとカレー作りチームに分かれて作業することになり、一人一人が責任をもって仕事に取り組み、お互いに協力し合ったことでおいしいカレーとご飯を作ることができました。二つ目は時間を意識して行動することができました。私は家族旅行とかでも、予定を確認せず人に頼ってしまうタイプだったので、今回の稲武でみんなについていけるか不安だったのですが、しおりを常に見ることを意識したら、人に頼らず自ら行動することができました。稲武でよかったと思ったことが多かった反面、これから気をつけていきたいなと思ったこともいくつかありました。夜、もう就寝時間なのにずっとしゃべっている人がいて、なかなか眠れなかったり、時間を守れずみんなに迷惑をかけている人がいたり、自己中心的な考えや軽い気持ちでルールやマナーを破るとたくさんの人に迷惑がかかることを改めて学びました。これからの学校行事を全力で楽しむために、時間やルールを守って行動していきたいです。

【3組】

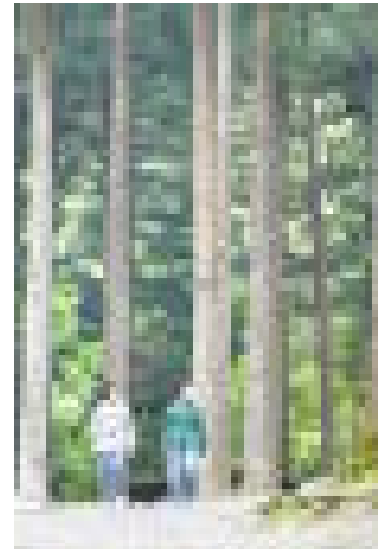
- 今振り返ってみると、どれも楽しい思い出ばかりで、私はとてもいい体験ができたな、と実感すると同時にあっという間だったな、と感じました。特によかったと思った体験は、カレー作りです。カレー作りでは、水の分量をまちがえたり、野菜を切る大きさが小さかったり、カレーを火にかけている時に虫が入ったりと、途中でちゃんとしたものができるのか不安になったりしたけれど、いざ、完成したのを食べてみると、素朴な味で、これはこれで班員の努力がつまっていていい味だな、と感じ、それと大事なものは、班の人たちみんなでがんばって作ったという過程なんじゃないかな、と思いました。



- 私が、稲武野外学習に行って一番良かったと思ったのは、自然との触れあいだった。普段あまり触れることのない自然に触れて、とても気持ちがよかったし、空気がきれいだった。名古屋とは全然違い、思わず深呼吸してしまうような空気で、稲武が大好きになった。(虫がいなければ)同じ部屋の子たちと寝る前に月を見たり、残念ながら見えなかった星がもし見えたらどんな感じだったのかな？という話をしたり、仲を深めることができたと思う。カードゲームでみんなで盛り上がり、楽しんだりして部屋での思い出もたくさんできた。クラスの中で話したことのなかった子との思い出もたくさんできた。「この子こんなに明るいな」「こんなに天然なんだ！」という新しい発見ができて、とても絆が深まったと思う。



- ・ 稲武に着いたときの空気はとても心地よかったです。着いたあとのお弁当も、家の近くでは見られない、乱立した大きな木に圧倒されながら、自然を感じ、いつもより美味しく食べられました。移動中にも自然の音がとても心地よかったです。そんな音の中でも、一段と記憶に残ったのが火の音です。家ではコンロやトースターなど火を扱っていても、普段、火が揺らぐ音はあまり聞けません。パチパチと鳴る火の音はとても心が落ち着きました。夜にやったキャンプファイヤーでも、最後の「キズナ」の火文字は幻想的で見とれました。このように、自然は、見た目はもちろん、音でも人を癒やすことができるんだな、と感じました。



【4組】

- ・ 私は、今回の稲武野外学習により、色々な自然の中での生活の美しさや大変さ、そしてなによりも学年全員との仲、「絆」を深めること、その大切さに気付くことができる経験となりました！一つ目の色々な自然の中での生活の美しさというのは、都会とは離れて綺麗な景色や空気を吸うことで心から体まで綺麗にしてくれるということです。その反面、自然の中だと道のりの激しさがあったり、虫への対策をしなければいけなかったりと、大変なこともたくさんあったりするということに気がつくことができました！二つ目の仲間との「絆」というのは、稲武野外学習を通し、仲間との協力の大切さ、また仲間と協力するだけが「絆」といえるのではなく、お互いを信用し合い、お互いが関わることで楽しめる、笑い合える、そんなお互いが結ばれているようなことを「絆」というものなんだと考えました。今回の活動を通して、お互いがみんな少しでも心を開き、お互いがお互いを助け合うことでみんなでの仲が深められたかなと思います！特にキャンプファイヤーの時、あまり関わったことのない人と話してみたり、出し物を見て笑い合ったり、カレーを作るときは班の人に「手伝うよ！」と声をかけたり、逆にかけられたり、そんな心温まる協力・気遣いが色々なところで見られてとても良い、素敵な忘れられない思い出になりました。



- ・ 私は最初、稲武はあまり楽しいものだと思っていませんでした。なぜなら、今よりも不便を感じることで一体何をされるのかイメージがつかいにくかったからです。(中略) 小学校と中学校では、「自分でやる、判断する。」というレベルが上がり、実行委員や係の仕事の重大さが違うと、今回を通して感じました。自分一人が予定を少し覚えていなかったり、役割を知らなかったりするだけで、多くの人に迷惑がかかります。これが、集団行動を行う上で難しいことだと思います。また、今回の

野外学習で学んだことがもう一つあります。それは、「人とのコミュニケーションの大切さ」です。もし、コミュニケーションが班の人や実行委員の人ととれていなかったら、自分だけその情報を知らなかったり、次のやるべきことの確認ができず、行動が遅れてしまったりしていたと思います。勉強がいくらできても、コミュニケーションがとれなければその実力を発揮できないということを今回強く感じました。稲武野外学習を終えた頃には、このように自分が今まで気付かなかったことに気付くことができたので、自分自身を大きく成長させてくれたと思います。



- ・ 小学5年生の時に行く予定だった中津川は、コロナの影響でなくなってしまい、今回の稲武が初めての野外学習となり、楽しみという気持ちと不安な気持ちで当日を迎えた。(中略) キャンプファイヤーでは、進化ジャンケンでたくさんの子とジャンケンができたし、ケンタッキーになれた子たちには、先生たちからの萌え萌えキュンがあって、先生たちの普段は見られない姿が見られて良かった。フォークダンスでは、みんなが一斉に踊ることがないから、何だか新鮮で楽しかった。それとギター部の演奏がとても上手だったし、それに合わせて歌った「友よ」に感動して泣きそうになった。あっという間に一日目が終わり、二日目の民芸教室では友達と話しながらワックスを塗ったり、目のパーツを付けたりしてとても楽しかったし、私が困っていたら友達が丁寧に教えてくれてすごく助かった。この二日間で、クラスの子と色々な場面で過ごすことができて、心の底からこの赤学年のみんなに会えて本当に良かったって思った。二日間で深まった絆をこれからも大事にして過ごしていきたい。



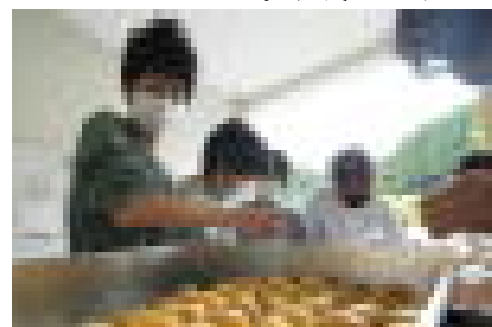
【5組】

- ・ 「早く起きなさい。」母の優しい声で目覚めた6月5日の朝をまるで昨日のように覚えています。学校に着けば、みんなの楽しげな声が聞こえてきました。なんだか私も今日から稲武に行くと思うと楽しくなってきた、胸がドキドキしました。バスに乗り、ころころ変わる景色を見つめていると、あっという間に到着してしまいました。さっきまで車が周りを覆っていたのに、今は緑しかないあの空間をすぐに大好きになってしまいました。私が数ある民芸教室の中から選んだのは、「まゆ細工」でした。多目的室に着けば、机に並ぶいくつものまゆに目を奪われてしまいました。花を作るための作業一つ一つがどれも全て美しく、きらきらしていて、こころがいっぱいになったのをよく

覚えています。丁寧に丁寧に作って、花が一番輝く位置を必死になって探して、そうして出来上がった作品は世界にたった一つの私の宝物です。最後に、稲武がこんなに楽しくて、きれいな思い出になったのは数えきれないくらいたくさんの方がいろんなことを計画して、練習して、実行して、ほかにもいろんなことをしてくれたおかげです。その一人一人をめぐってお礼を言うことはできません。なので、この場をお借りして伝えさせていただきます。本当にありがとうございます！！



- ・ 稲武に行ってからいろいろなことを学びました。ご飯の炊き方も全然わからなくて、うまくできるかな、と不安だったけど、稲武で炊いた時、うまくできて、米も焦げてなくて食べたときすごくおいしかったです。ギターは毎日早く学校に行って練習をしてコードも覚えました。何もできなかったのに、本番になって歌いながらギターを弾けて、終わった後に初心者から経験者になったんだと思いました。ギターはすごく楽しくて、またやる機会があったらやりたいなと思いました。夜食のジャガイモは思っていた以上においしくて、おかわりしたかったです。最初はジャガイモか〜って思っていたけど、食べてからおいしい！と思いました。また食べたいです。そしてお泊りはみんなで笑ったり、楽しくカードゲームをしたのがすごく楽しかったです。またみんなで行きたいと思いました。



【6組】

- ・ 僕はキャンプファイヤーの点火式チームとして頑張りました。僕にとって点火式チームは、キャンプファイヤーを始めるにあたって舞台を作り上げる一番大切な仕事だと思います。その舞台を作り上げるのに一番頑張ったのは劇の練習です。運の悪いことに実行委員とテスト期間がかぶってしまい、とても大変でした。その中で誰一人文句を言わず練習しているのを見て、僕は情けなく感じました。そこから毎日絶対に台本に目を通すようにし、一回は練習を家でもしました。そしてむかえた本番。早めに集合した僕たちは最終確認をし、いざ本番、だんだんクラスが入場してくるたびに胸がドキドキしました。代表者の掛け声で一斉に飛び出しました。最初はあまり緊張しなかったけれど、時間がたつにつれて頭が真っ白になっていき、セリフを忘れてしまって、とてもくやしかったです。けれど、クラスに戻った時、「おもしろかった」「とてもよかった」などの声をもらってとてもうれしかったです。実行委員が終わった後は、開放感がありました。次の行事の時は事前にしっかり準備をし、今回みたいにならないように頑張ろうと思いました。

- ・ 学年通信の右上に「最高の仲間とは？」と書かれています。「つらいときに支え合える仲間」、「喜びや感動を分かち合える仲間」、私は、稲武に行く前には、それがあまりしっくりきていませんでした。私の周りにはいる人たちは、本当に真の仲間なのだろうか？今回の稲武野外学習に行き、たくさんの思い出を作り、たくさんのこと



を学びました。最初、校庭に集合したとき、点呼完了の8時10分には全員が静かに並び、みんなの緊張感と、この稲武をちゃんと楽しみたいという思いが伝わってきました。カレー作りでは、班のみんなと協力して、おいしいカレーをみんなで食べることができ、誰かと協力をする大切さを学びました。そしてついにキャンプファイヤーをする時間が近づいてきました。私は友達と一緒に点火式チームの実行委員に入っていたので、みんなより早めに行って寸劇の動きの確認や準備をしました。そしてだんだんと多目的ホールへ人が入ってきました。私たちは役名のネームプレートが見えないように、柱に隠れていました。緊張のせいで、みんなの表情は少しこわばっているように見えました。なので、「エイエイオー！やろ！」と言い、みんなで「がんばるぞー！オー！！」と言いました。みんなの声が一つに、心が一つになった気がしました。無事に劇は終わりました。途中でハプニングはあったけど、みんなで乗り越えました。その後は緊張もなくなり、楽しみまくりました。家に帰って、机の上にあった学年通信「絆」の「最高の仲間とは？」という文字を目にしました。そこに書いてある文字を、今回の体験と重ね合わせてみました。「つらいときに支え合える仲間」、つらくはなかったけど、カレーを作るとき、高い山に登るために橋や急な階段などを上りました。その時に友達も怖そうだったので、2人で手をつないで歩きました。怖いときに友達と支え合いました。「喜びや感動を分かち合える仲間」、それはキャンプファイヤーで実感しました。みんな感動して、それを分かち合う姿がみられました。私自身も、「最高の仲間とは？」という問いについて考えました。それは互いに尊重し、支え合い、感動する場面では心を一つにして思いを分かち合う、そんな大切な人。私の近くにもそんな人がいました。今までは、当たり前のことだと思っていました。でもそれは、とても大切なものだったということ、今回知ることができました。その仲間たちに感謝し、これからも支え合っていきたいと思います。

